

緑地を楽しむ本

『かたつむりのひみつ』

しぜんにタッチ 黒住耐二 監修 武田晋一 写真

ひさかたチャイルド



あじさいの花が咲き、カタツムリの季節がやってきます。どんな小さな子でも知っているカタツムリ。私だって幼い時から見慣れているはずなのに、実はカタツムリのことを何も知らなかったのだと、この小さな絵本で知らされました。

まず、「これがぼくのからだだよ」というごく普通のカタツムリの写真で、卵を産むところが首のあたりにあることにびっくり。いったいどのように卵を産むのでしょうか？ それに体の上の方と思えるところに、息

をるところとウンチをするところ、と書いてあります。

ウンチをしたら、それを折りたたむですって!?カタツムリを飼ったこともあったのに、そんなことも知らなかった・・・

ぜひ今年は子どもの頃を思い出してカタツムリを飼ってみたい、ウンチの様子、卵を産む様子、そのほかにもいっぱい、この本で発見したことをこの目で確かめてみたい、と思いました。

雨の緑地は、木々も瑞々しい緑を湛えています。木の葉裏をめくって、カタツムリを探してみましよう。

(小川)